



as human, for human

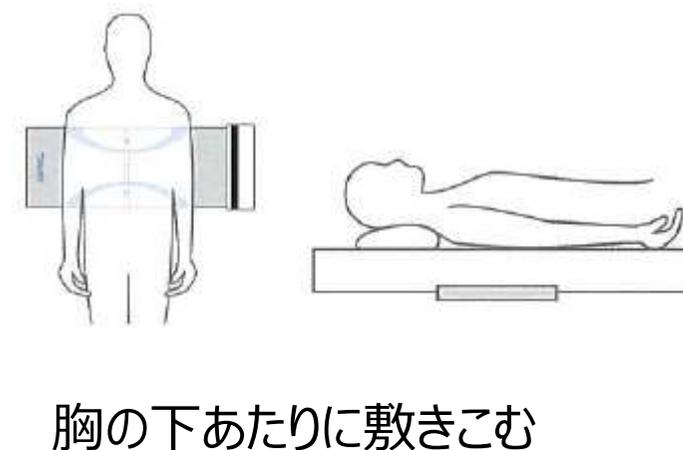
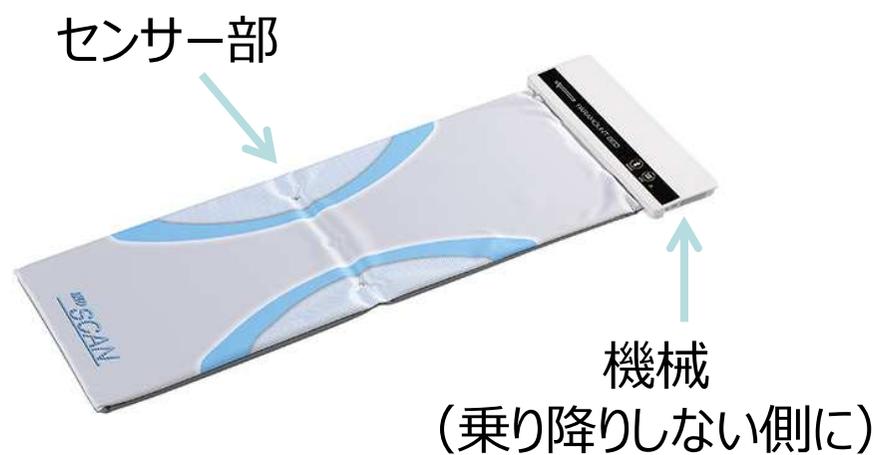
PARAMOUNT BED

見守り支援システム 眠りSCAN

2017年10月

パラマウントベッド株式会社

■ 眠りSCANの使い方



1) リアルタイムモニター（見守り）

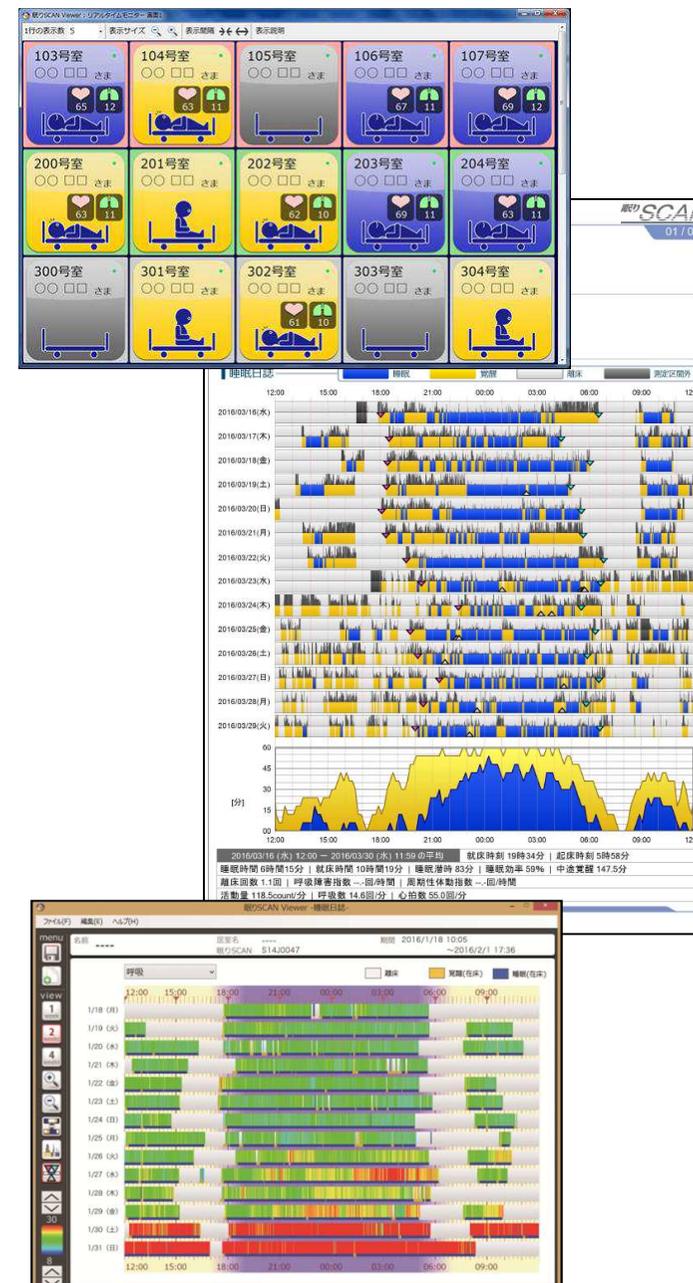
- ・安心な見守りの実現
- ・入居者の生活や行動に合わせた介護の実現
- ・スタッフの労務環境の改善
- ・心拍数・呼吸数の把握を通じた入居者の体調管理

2) 睡眠日誌（アセスメント）

- ・睡眠習慣（生活習慣）の見える化
- ・入居者の生活習慣の改善
- ・入居者のご家族への報告（信頼性の向上）

3) 心拍・呼吸日誌（体調管理）

- ・心拍数・呼吸数の推移の変化から体調変化の早期発見



① リアルタイムモニター – 見守り：入居者の現在状態の見える化 –



入居者の今の状態をPC画面上で見える化

- 入居者の睡眠、覚醒、離床、起上り、呼吸数がリアルタイムで把握出来る
- 入居者の状態を把握して、訪室するか訪室しないかの判断を行なう

① リアルタイムモニター — 機能 —



パソコン

大画面モニターを併用すると見やすい



アクセスポイント



居室内のベッド
(眠りSCAN)



携帯端末 (iOS端末)

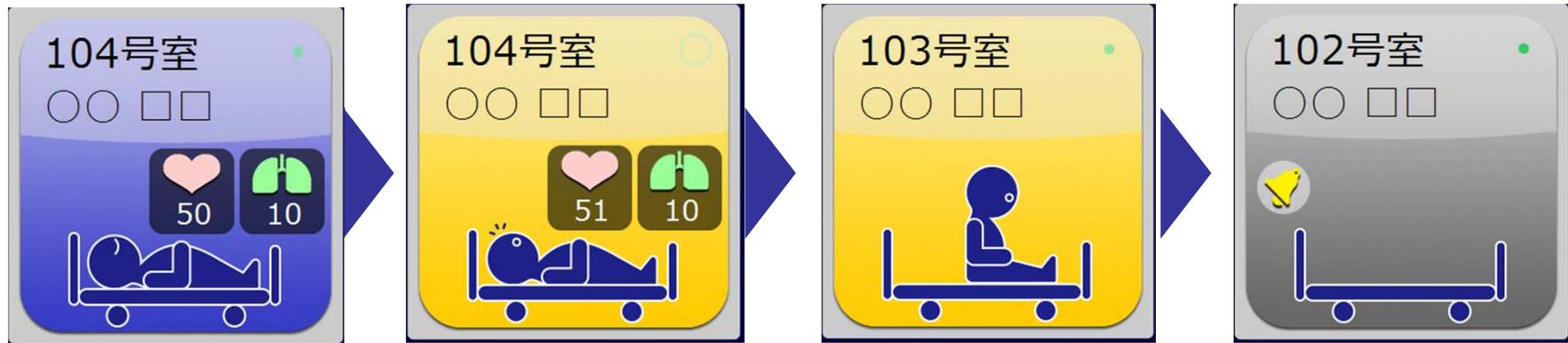
スタッフが持ち歩く

● 今までは……

安全のため個室の様子を確認したいけど、
夜間時の巡視では

- ✓ 入居者のプライバシー・睡眠を妨げてしまう
- ✓ 非効率で業務負担が大きい
- ✓ タイムリーな訪室、トイレ誘導が困難

① リアルタイムモニター -活用例 (見守り) -



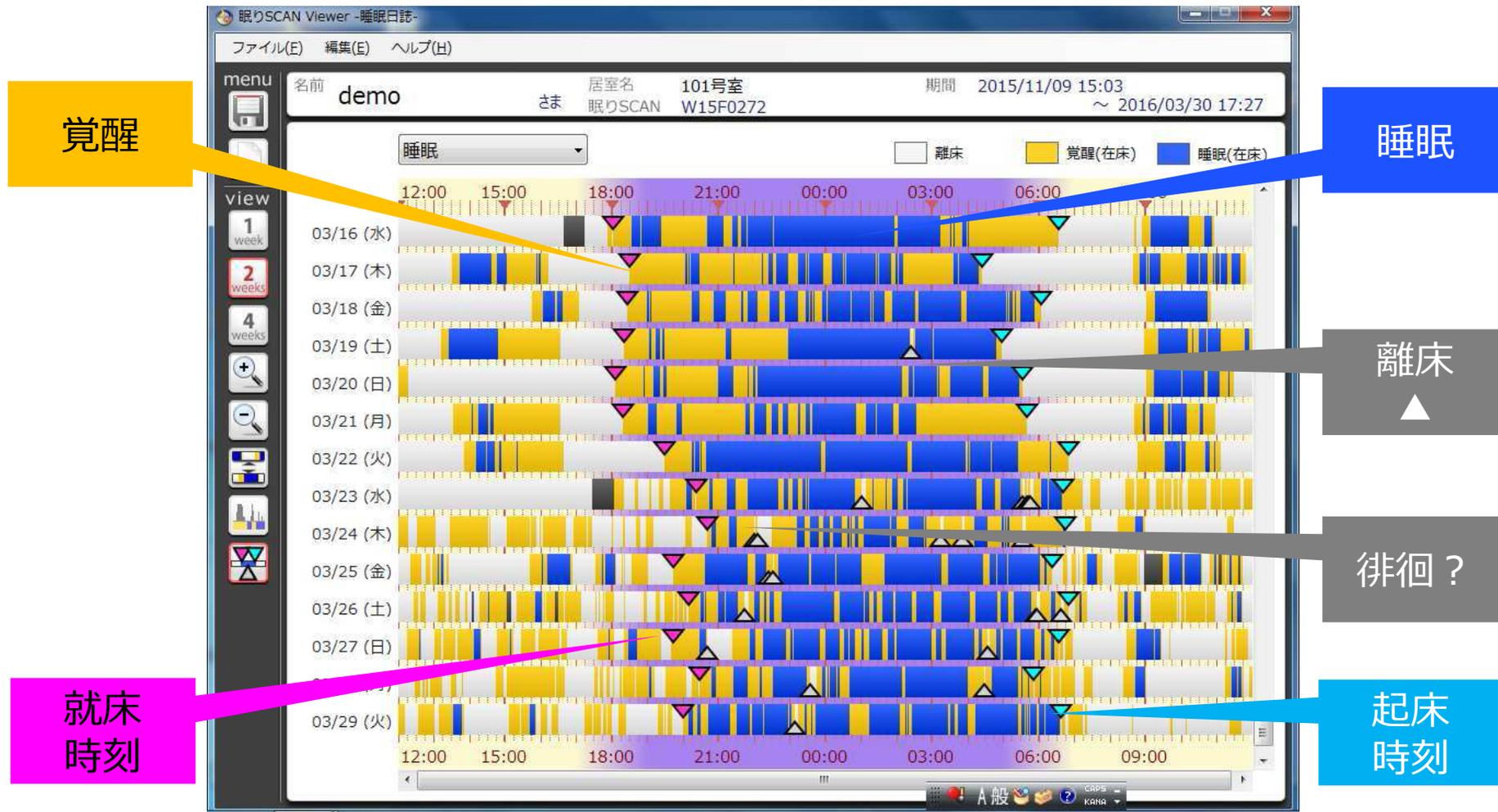
● 目的に合わせて、入居者の状態の変化をPCアラーム及びiOS端末 (iPod、iPhone、iPad) で鳴らすことができる。

例1：夜間トイレ時の転倒リスクの高い方⇒「起き上がり」で設定、訪室～トイレ誘導

例2：夜間のおむつ交換時に起きてしまい、不穩になってしまう方
⇒「覚醒」で設定、アラームが鳴ったら、訪室～おむつ交換

- 1) アラームの選択・・・鳴らす人/鳴らさない人の選択可能
- 2) アラームのタイミング・・・
 - ①「睡眠」→「覚醒」
 - ②「睡眠」、「覚醒」→「起き上がり」(夜間のトイレ誘導目的では推奨)
 - ③「睡眠」、「覚醒」、「起き上がり」→「離床」
- 3) 「呼吸数・心拍数で閾値を設定」して、アラームを鳴らすことも可能

②睡眠日誌 -機能-

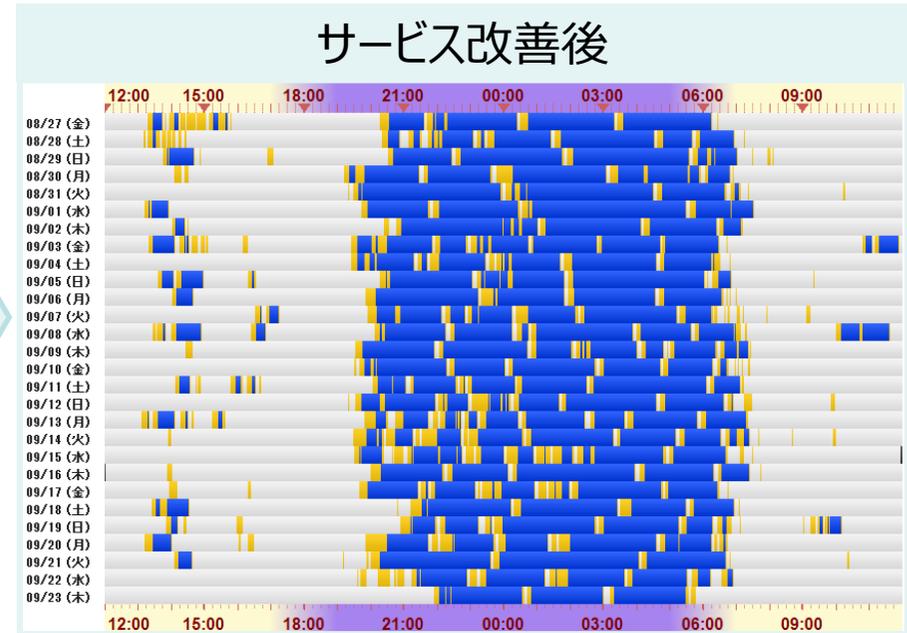
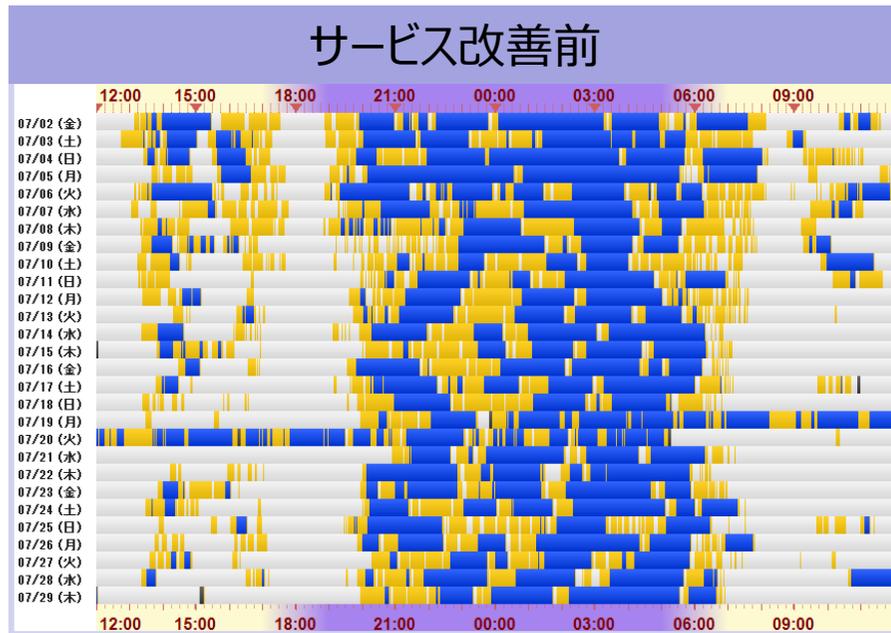


入居者の睡眠習慣（生活習慣）を確認できる

夜、よく眠れているか？ 離床回数は？ 起床する時刻は？
徘徊していないか？ 昼夜逆転していないか？ など

②睡眠日誌

-アセスメント：睡眠習慣の評価と改善-



①入居者の睡眠が改善

⇒メリハリのある生活を送ることで、入居者の生活の質の向上につなげる

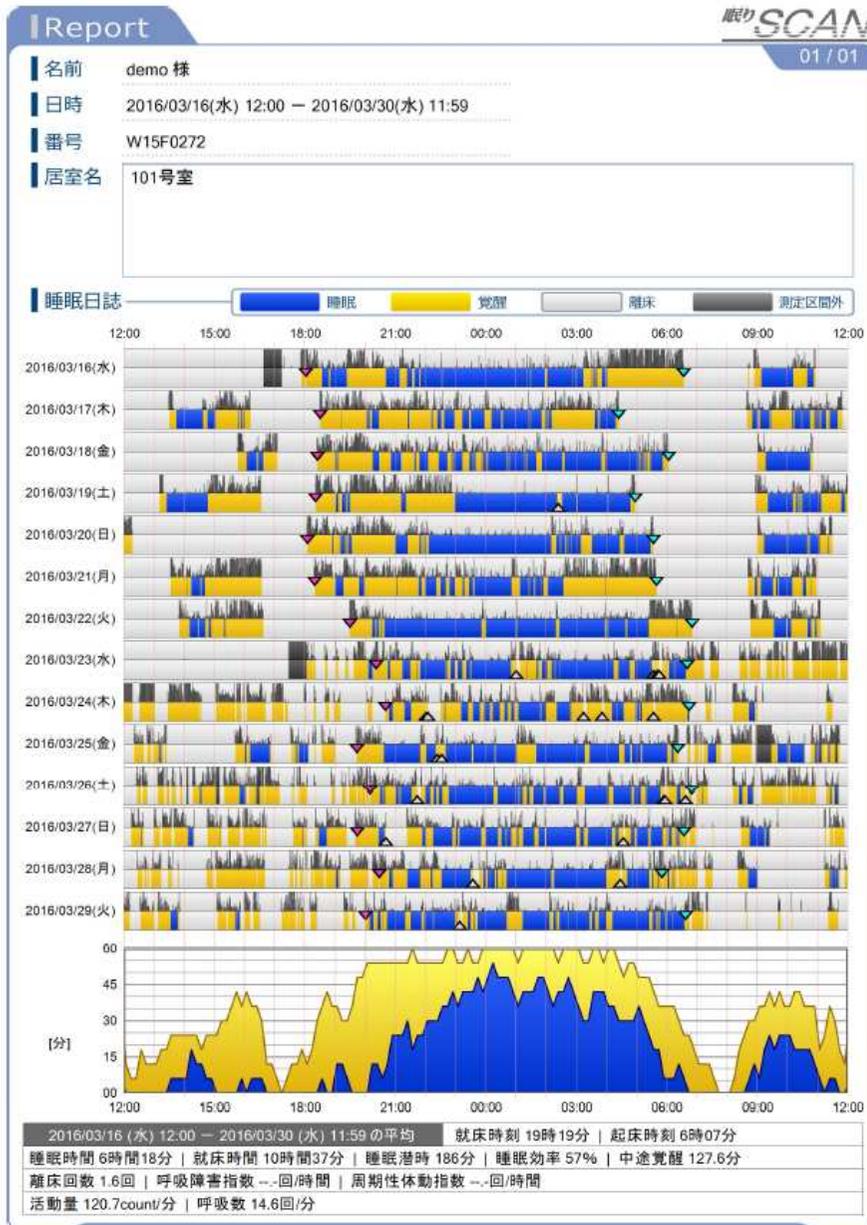
②介入や働きかけの効果が見える（イベント、リハビリ等）

⇒スタッフのモチベーション向上につなげる

③入居者の離床回数や夜間の中途覚醒時間が減る

⇒ナースコールやトイレの回数が減る、転倒リスク低減につなげる

②睡眠日誌 -睡眠レポート-



■ 表示の期間

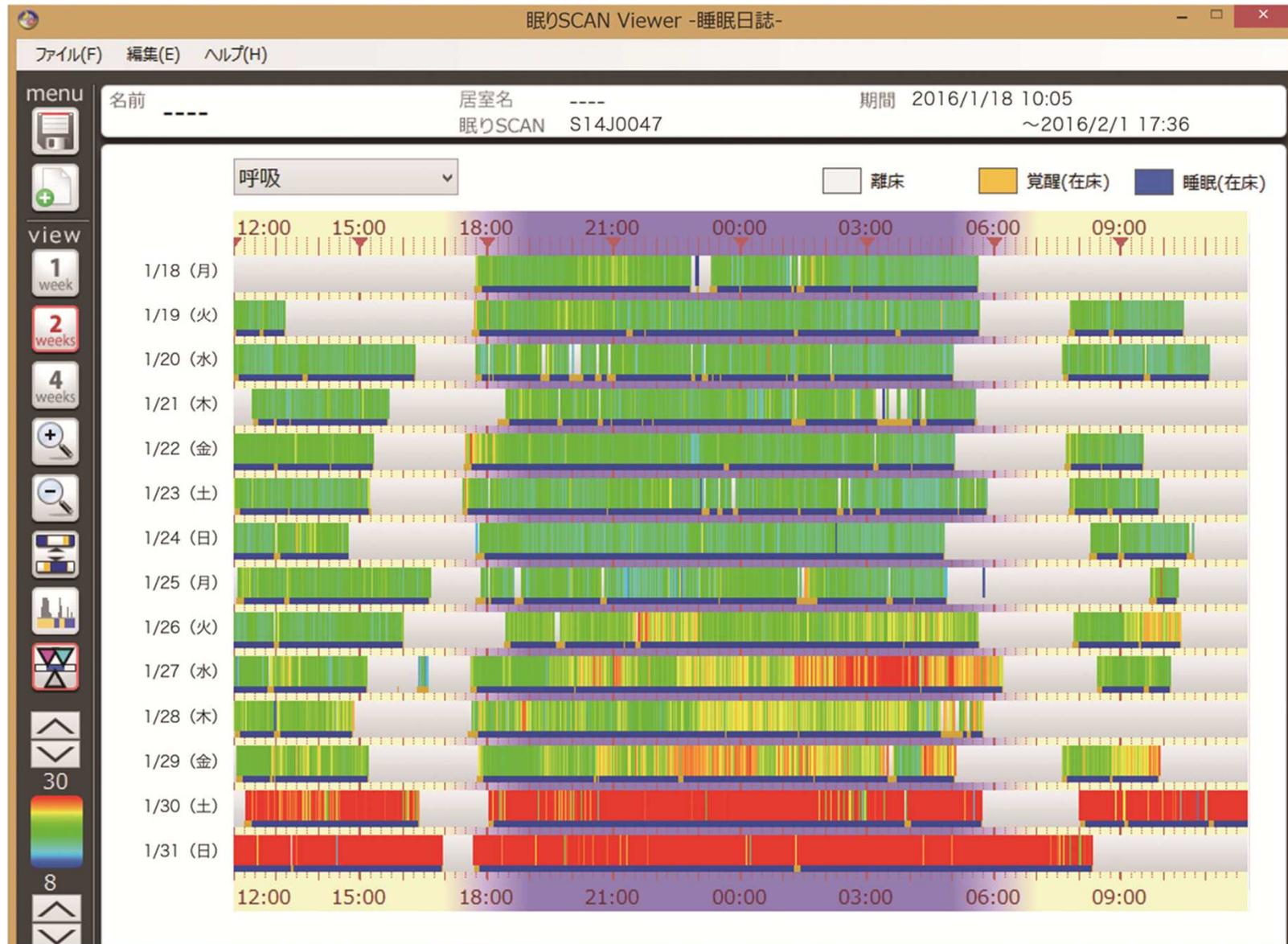
- ・2週間/4週間ごとに1枚のレポートで印刷

■ 活用方法の例

- ・ご家族やケアマネージャーへの報告資料
 - ・介入や働きかけの効果検証
 - ・睡眠導入剤の効果検証
- 等々

睡眠に関する各指標が数値で表示

③呼吸日誌・心拍日誌



呼吸数/心拍数の長期的変動を一覧し、体調変化に早く気づくツールとして活用